

[成果情報名] 摘み取りに適したバラの採花方法と品種

[要約] 「バラの摘み取り」ではフロリバンダ系の品種を用い、採花を花茎長30cm で行うと切り花本数が多くなり、5月下旬から10月末まで採花できる。

[キーワード] 花の摘み取り、バラ、採花方法

[担当] 山梨総農試・高冷地分場・花き花木科

[連絡先] 電話0551-20-2050、電子メール koureichi@pref.yamanashi.lg.jp

[区分]

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

茅ヶ岳山麓では、基盤整備が進み、これらの農地の有効活用が求められている。近年、サクランボ狩りやブルーベリーの摘み取りなど春から夏にかけての観光農業での活用が増加しているが、現地では、さらなる集客を図るため観光客の多様なニーズに対応できる「花の摘み取り園」開設の要望が大きい。そのため、バラの摘み取りに向く採花方法と品種を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 露地栽培において、四季咲き中輪系（フロリバンダ系）バラは5月下旬から10月末まで採花できる（データ 略）。
2. 観光摘み取りとして多数の採花が見込める方法は、慣行採花（5枚葉2枚残し切り上げ採花）方法より、花茎30cmの長さで採花する方法が良い（表1）。
3. 品種は採花本数の多いものの中から花色を考慮し、5品種（表2 奨励グループ品種）を主とし植栽する。観光客の需要に応じ、他品種（表2 補完グループ品種）を加える。

[成果の活用面・留意点]

1. 適応範囲 標高700m程度の高冷地とする。
2. 株の中心部の枝が混み合うと、病害が発生しやすいので、日射や風通しが良くなるよう株の生育を見ながら枝数を整理する。
3. 病害虫防除は観光客に配慮し、最小限にとどめる。

[具体的データ]

表1 採花方法の違いによる採花本数(切り花長30cm以上)及び花蕾数

品種	花色	新採花法 ^z		慣行採花法 ^y	
		採花本数 (本/株)	花蕾数 (輪/本)	採花本数 (本/株)	花蕾数 (輪/本)
アイスバーグ	白	307.4	5.3	183.4	7.5
ゴールドハニー	黄	160.7	4.8	49.1	5.5
プリンセスチコ	濃橙	154.3	3.2	54.4	6.0
ラブゲルト	濃赤	114.0	10.0	72.9	11.9
ブラッサント	橙	112.7	3.7	56.9	4.8

^z 花茎長30cm 一定採花

^y 切り上げ採花

表2 新採花法における品種別月別採花本数^z(本/株)

グループ	品種	花色	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
推奨 ^y	アイスバーグ	白	50.7	15.7	71.7	85.7	66.0	17.7	307.4
	ゴールドハニー	黄	41.7	5.3	39.3	48.7	21.3	4.3	160.7
	プリンセスチコ	濃橙	20.0	28.0	42.7	24.0	7.3	12.3	154.3
	レッドシンプリシティ	赤	19.5	2.5	29.5	32.5	30.5	10.5	125.0
	マカリ	桃	3.4	29.0	40.4	19.4	12.6	9.2	114.0
	月別計		135.3	80.5	223.6	210.3	137.7	54.0	8614.4
補完 ^x	ハニーブーク	淡橙	4.0	37.0	45.2	28.0	8.8	6.2	129.2
	フレンドレス	淡黄	4.0	41.6	41.8	25.6	15.8	5.6	134.4
	モリザ	黄桃	9.6	36.2	34.4	8.8	29.4	2.2	120.6
	ラブゲルト	濃赤	13.7	17.0	29.3	35.0	7.3	11.7	114.0
	ブラッサント	橙	19.7	7.7	27.0	29.7	10.0	18.7	112.7

^z 定植2年目、調査期間 5月22日(開花始め)～10月30日

^y 主として用いる品種グループ ^x 補完として用いる品種グループ

[その他]

研究課題名：摘み取りに適する木本性花きの選定

予算区分：県単

研究期間：2003～2005年度

研究担当者：三宅ひろみ、堀内浩明、長谷川茂人、小牧祐子

発表論文等：

